

《実習科目 実習科目》

科目名	介護体験実習				
担当者氏名	井上 敏孝				
授業方法	実習	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 実習-2 豊かな人間性の醸成 ○ 実習-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 実習-4 発達の深い理解 ○ 実習-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

1. 事前指導では、①介護体験実習の目的や実習の心構え、②実習先の事業・活動についての理解、③利用者とのコミュニケーションの方法、④実習日誌の記録を講義する。2. 実習は、①社会福祉施設での実習5日間、②特別支援学校での実習2日間を行う。3. 事後指導では、①受講生による実習体験報告会、②実習記録のまとめを行い、③介護体験実習と教職との関係を考察する。

《授業の到達目標》

福祉施設・特別支援学校での実習を通して、対人援助において大切にすべき姿勢や福祉的視点を体験的に学習する。また、将来、義務教育を担う者として、幅広い社会観・人生観を持つように視野を広げ、人間的に成長することを目標とする。

《成績評価の方法》

実習先の評価 50%、実習記録 20%、事前事後指導における学習態度・提出物 30%

《テキスト》

なし

《参考図書》

必要に応じて資料を配布する。

《授業時間外学習》

1. 実習先によっては事前訪問が必要な場合がある。また、実習後は、実習先からの実習記録の受け取りやお礼状の送付等を確実にすること。
2. 実習生としてふさわしい言動や記録における適切な文章表現について、日常生活の中で意識し、習得するよう努めること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	介護体験実習の理念・目的・心構え、実習スケジュール
2	福祉施設実習の事前指導（1）	実習先の社会福祉施設の概要、高齢者の特性、障害の特性
3	福祉施設実習の事後指導（2）	利用者とのコミュニケーションの仕方と理解の方法、実習記録の作成方法
4	福祉施設実習（1）	社会福祉施設での介護体験実習
5	福祉施設実習（2）	社会福祉施設での介護体験実習
6	福祉施設実習（3）	社会福祉施設での介護体験実習
7	福祉施設実習（4）	社会福祉施設での介護体験実習
8	福祉施設実習（5）	社会福祉施設での介護体験実習
9	福祉施設実習の事後指導	社会福祉施設実習の体験報告、実習記録のまとめ
10	特別支援学校実習の事前指導（1）	実習先の特別支援学校の概要
11	特別支援学校実習の事前指導（2）	障害のある児童とのコミュニケーションの仕方と理解の方法、実習記録の作成方法
12	特別支援学校実習（1）	特別支援学校での介護体験実習
13	特別支援学校実習（2）	特別支援学校での介護体験実習
14	特別支援学校実習の事後指導	特別支援学校実習の体験報告、実習記録のまとめ
15	まとめ	学習のまとめ「2つの実習体験を教職にどう生かすか」